

平成21年度学習サポート報告（教育GP採択以後）

学習サポーター制度が文部科学省大学教育推進プログラムに採択された。これに伴い、従来の個別サポートを拡大実施するとともに、新たなサポート方式として「サポートスペースによる学習サポート」を導入した。また、3学期にも個別サポートを実施した。必ずしも全てが順調に進んだ訳ではないが、これまでの状況をここに報告し、今後の発展に繋げてゆきたい。

1. 教育GP採択後の活動

2009年

9月28日 教育GP採択通知

10月上旬 2年生に対する個別サポート開始

10月9日 教育GPWG打合せ:今後の役割分担、サポートスペースの詳細について決めた

10月中旬 サポートスペースポスター等の作成・掲示

11月2日 1年生2学期個別サポート開始

11月4日 サポートスペースでのサポート開始

11月6日 全教員へメール:サポートスペースの宣伝とリアルタイムFD(試行)へのご協力をお願い

11月10日 関連教員へメール:学習サポートスペースのチラシの配布について(お願い)

12月1日 サポートスペースの開設時間を変更

12月10日 3学期の学習サポートについてクラス担任への説明会:サポートスペースを変更して個別サポートにすること。

12月中旬 学部生の皆さんへ:「サポートスペース」での学習支援に関するアンケート

12月21日 2、3学期サポートスペースサポーター打合せ:サポートスペースの改善に関してサポーターから積極的な意見あり

2010年

1月8日 大学教育改革プログラム合同フォーラム(東京)参加(中川)

1月12日 3学期個別サポート実施

～2月19日

2月5日 「基礎学力向上に関する勉強会」14:40～18:00 マルチメディアセンター

2月中旬 2、3学期のサポートに関するアンケート実施:対象学生とサポーター

3月16日 新潟大学理学部FDに参加・講演(原、中川)

3月18日 京都大学教育フォーラム参加(中村、原、中川)

～3月19日

2. 実施状況

(1) 2学期のサポートスペースによるサポートについて

従来実施してきた個別学習サポートと異なり、複数のサポーターが決められた時間に一定の場所に待機して任意の学生からの質問や相談に回答する。学生はサポーターのスケジュールを見て質問したいサポーターを選んで質問することができる。この方式を「サポートスペースによる学習サポート」という。このサポート方式によって、これまで指摘されていたサポートを受ける機会の公平性を改善することができる。また、必ずしも個別のサポートを毎週必要としない学生にも質問する機会が与えられる。

☆2学期サポートスペースの実施状況

場所:総合研究棟3階自習用パソコン室

日時:11月・火水金 16:30～18:30 12月・火水金 12:00～18:00

サポーター数:11人 質問学生数:延べ45人

ポスターの掲示やチラシの配布により事前に十分宣伝した。個別サポートのない3年生や受けていない1、2年生が利用し、学生には学習サポートを受ける機会の拡大となった。また、授業の一環としての利用もあり、サポートスペース活用の可能性が示された。しかし、学生の認知度の高さのわりには、利用者が期待したほど伸びなかった。そこで、学生が利用できる時間帯を増やすために、12月からサポートスペースの開設時間を変更した。しかし、この変更によっても利用者数は増加しなかった。

今後の展開を考えるため、12月中旬に学部1～3年生に対しアンケートを実施した(後掲アンケート結果参照)。また、サポートスペースサポーターに集まってもらって、意見を聞いた。そこでは以下のような改善案が出された。

●2学期の実施に関する現状とその改善案

- (a) パソコン室ではなく、図書館3階にしてはどうか。無線LANも使えるので、報告書の作成もできる。パソコン室に来る人は学習に関する質問をしようとして来るのではないと思う。
- (b) 授業後にすぐに来やすいので、講義棟の教室にしてはどうか？あるいは学生ホールも考えられる。
- (c) サポーターの所属専攻を明示したほうがよい。
- (d) 1、2年生は課程に関係なく、基礎科目の質問に来た。
- (e) 生物系3年生は水曜日は授業がある。
- (f) 課題や試験対策のために質問に来る学生がいるので、期末試験前にはサポーター数を増やしたらどうか？
- (g) この制度はいい制度だと思うが、学生がサポーターに求めていることと、大学側で考えていることにズレがあるのではないか？サポーターの得意分野・得意教科で実施して、低学年に絞るといいと思う。
- (h) 学生が自分に聞きたいことを聞きたい研究室に直接行って質問することができると思う。
- (i) 複数人のサポーターがサポートすると思う。個室で1対1になるのではサポートを受けにくい。
- (j) 先生に質問しにくいのだが、今回のサポートスペースではサポーターにも聞きにくかったのではないか？みんなで勉強してみんなでサポーターに質問する、という体制ならいいと思う。

●3学期の個別サポートについて

- (a) 3学期に大学に来る人は、単位不十分で補習を受ける人などである。英語Sを受講する人や各課程で補習を受ける人たちに対して、授業前に勤めてはどうか？
- (b) 生物系は2月後半に研究室配属のための試験がある。その人達が利用しやすいように、受付×切を2月にしてはどうか？1月12日にはまだ実家にいると思う。
- (c) 応募の際に、自分がどの科目のサポートを希望するか調査した方がよい。

(2) 2学期の1年生に対する個別サポートについて

従来、1年生に対して2学期は個別サポートを行わなかったが、教育GPの採択を受けて個別サポートを1年性に拡大実施した。

☆2学期1年生に対する個別サポート実施状況

期間:11月2日～12月23日

サポーター数:5人 対象学生数:15人

1学期の成績等を考慮して対象学生を選出した。学期途中からの実施だったため多くの学生に対して実施することはできなかったが、学習支援報告書を読むとサポートの効果は得られていると思われる。

なお、2年生に対しては以下のようなようであった。

☆2学期2年生に対する個別サポート実施状況

期間:10月上旬～12月23日

サポーター数:13人 対象学生数:30人

(3) 3学期の個別サポートについて

2学期の結果から、3学期に同じ形でサポートスペースを実施するのは無理だと判断し、3学期は個別サポートに切り替えることにした。

☆3学期の個別サポートの実施状況

実施時期:1月12日～2月19日

サポーター数:6人 対象学生数:6人

希望者をポスターで募集してその希望科目に適任のサポーターを選出した。サポート希望は、英語(TOEIC)、再試験対策、実務訓練資格試験対策等であり、ほぼ1対1のサポートとなった。対象学生はいずれも自主的な応募によるものである。本制度が基礎学力不足者への支援だけでなく、授業の少ない時期に自ら学習する意欲を持つ学生を伸ばす制度としても活用できることが示された。

3. 次年度へ向けての改善点

教育GP採択を受けて、新たにサポートスペースによるサポートと2学期1年生及び3学期の個別サポートを実施した。今年度は年度途中からの実施だったので、うまく行かなかったことも多かったが、反省点を今後に活かして次年度はよりよいサポート環境を提供してゆきたい。次年度を考えるにあたり、途中で実施したアンケート結果とサポーターからの直接の意見聴取は非常に参考になった。また、対象学生アンケートからは、制度をうまく利用できた学生には効果が大きいという結果が示された(2・3学期対象学生アンケート結果を後掲)。

以下に、反省点と今後の課題を示す。

- (1) サポートスペースのような待ち受け方式の学習支援は多くの大学で実施されているようである。今年度参加した新潟大学理学部FDや京都大学教育研究フォーラムでも実施校の関係者から実施状況を聞いたが、多くの大学で待ち受け方式はうまく行っていないようだ。今後、他大学等との意見交換を行って、互いに効果的なサポートができるように取り組んでゆきたい。
- (2) 個別サポートは実施を開始してから4年が経過した。個別サポートは順調に実施されていて全学的にも制度が認知されてきている。サポートスペースも継続して実施してゆけば、今後十分に認知され、うまく機能してゆくと期待される。
- (3) サポートスペースの実施では、状況をよく観察してサポーターや学生からの意見を聞いて柔軟にやり方を切り替えた。今後も情報をよく収集して柔軟な進め方をした方がよいと考えられる。特に、今回は1、2、3年全部をサポートスペースサポートの対象にしようと欲張ってしまったが、3年生は授業スケジュールが過密で設定したサポート時間にはサポートに来ることができないことがわかった。そこで、次年度は、サポートスペースの対象学生を1、2年生に絞って、サポーターも1年入学者を採用して実施したい。

以上

(参考)

1. 「サポートスペース」での学習支援に関するアンケート

☆配付アンケート

学部生の皆さんへ

「サポートスペース」での学習支援に関するアンケート

2009年12月 共通教育センター

11月から開始した「サポートスペース」での学習支援について、皆様のご意見をお聞きし、来年度の運営に役立てたいと思います。簡単なアンケートですので、ご協力をお願いします。なお、このアンケートは、上記の目的以外には使用しません。

※回答は該当する選択肢の番号を右側の□に記入してください。また、「その他」の場合は（ ）内に具体的に記入していただくと参考になります。なお、すでにこのアンケートに回答したことのある方は、データが重複してしまいますので、再度回答の必要はありません。

1. あなたの課程を教えてください。

- 1 機械創造 2 電気電子情報 3 材料開発 4 建設
5 環境システム 6 生物機能 7 経営情報システム

2. あなたの学年を教えてください。

- 1 1年 2 2年 3 3年 4 4年

3. サポートスペースでの学習支援が開始されたことを知っていますか？

- 1 知っている 2 知らない

4. これまでにサポートスペースでの学習支援を利用したことがありますか？

- 1 ある 2 ない

「ある」と答えた人はこれでアンケートは終わりです。ありがとうございました。

5. 上記4で「ない」と答えた人にお聞きします。

(1) 利用したいと思ったことはありますか？

- 1 ある 2 ない

(2) 利用しなかった理由は何でしょうか？

- 1 特に勉学で困っていない 2 知らない先輩には質問しにくい
3 場所が行きにくい 4 開設時間が合わない
5 その他 ()

(3) もしあなたが利用するとしたら、下のどの場所が利用しやすいですか？

- 1 現在の場所 (学生自習用パソコン室) 2 図書館3階グループ閲覧室
3 講義室 4 その他 ()

(4) もしあなたが利用するとしたら、下のどの時間帯が利用しやすいですか？

- 1 昼休み 2 放課後 3 授業の空き時間
4 その他 ()

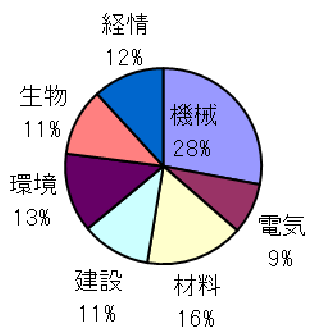
ご協力ありがとうございました。

◎学習サポート制度についての相談、質問・意見などは、メールで下記まで。

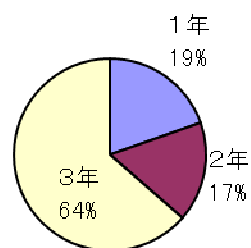
support@vos.nagaokaut.ac.jp

☆アンケート結果（抜粋）

問1 所属課程



問2 学年



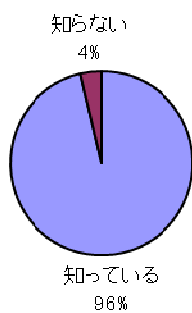
問3 サポートスペースを知ってますか【1年】



問4 利用したことがあるか【1年】



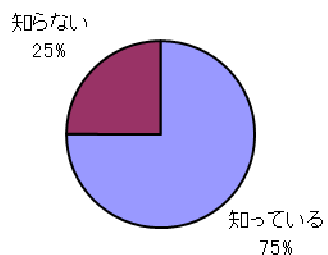
問3 サポートスペースを知ってますか【2年】



問4 利用したことがあるか【2年】



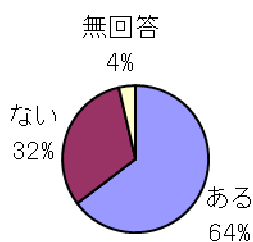
問3 サポートスペースを知ってますか【3年】



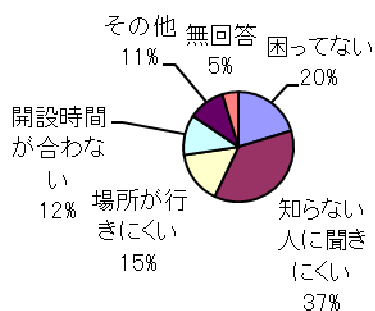
問4 利用したことがあるか【3年】



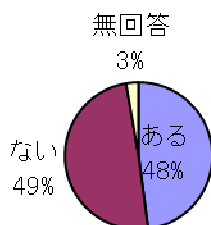
問5(1) 利用したいと思ったことはあるか【1年】



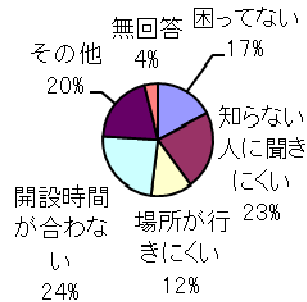
問5(2) 利用しなかった理由【1年】



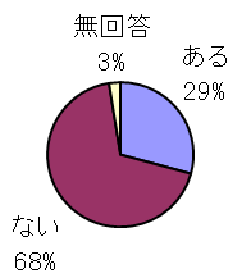
問5(1) 利用したいと思ったことはあるか【2年】



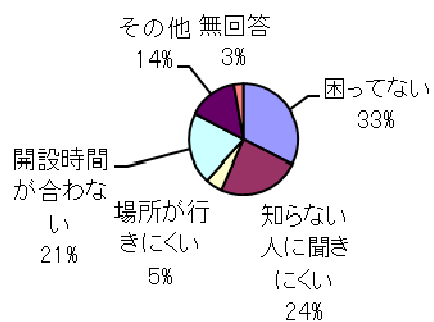
問5(2) 利用しなかった理由【2年】



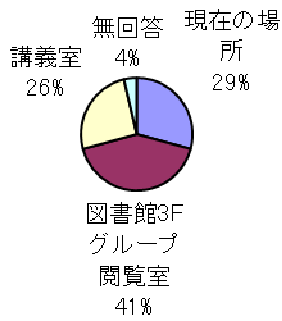
問5(1) 利用したいと思ったことはあるか【3年】



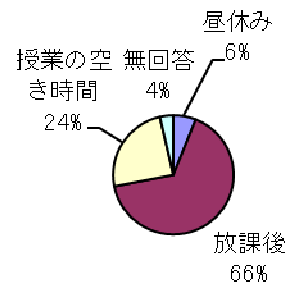
問5(2) 利用しなかった理由【3年】



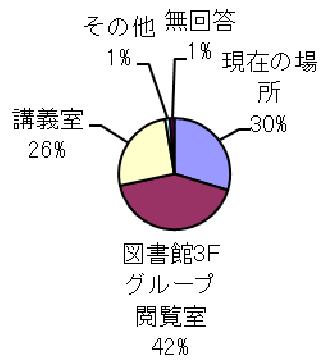
問5(3) 利用しやすい場所は【1年】



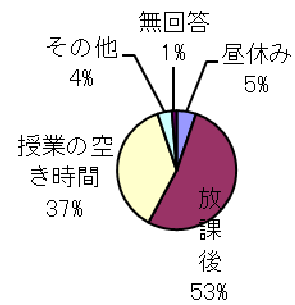
問5(4) 利用しやすい時間帯は【1年】



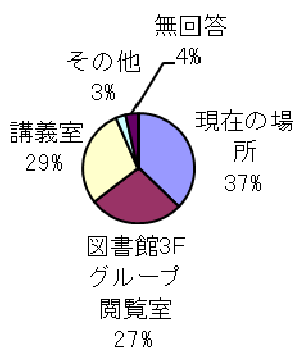
問5(3) 利用しやすい場所は【2年】



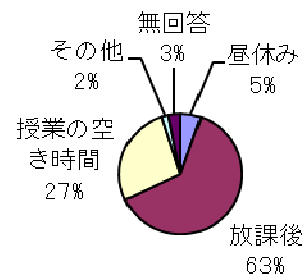
問5(4) 利用しやすい時間帯は【2年】



問5(3) 利用しやすい場所は【3年】



問5(4) 利用しやすい時間帯は【3年】

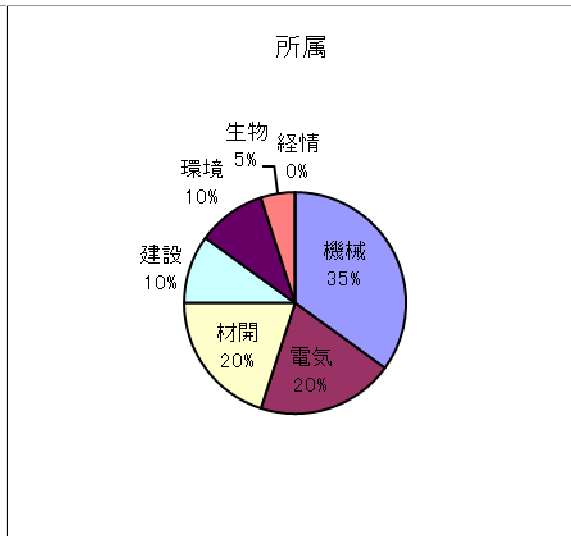
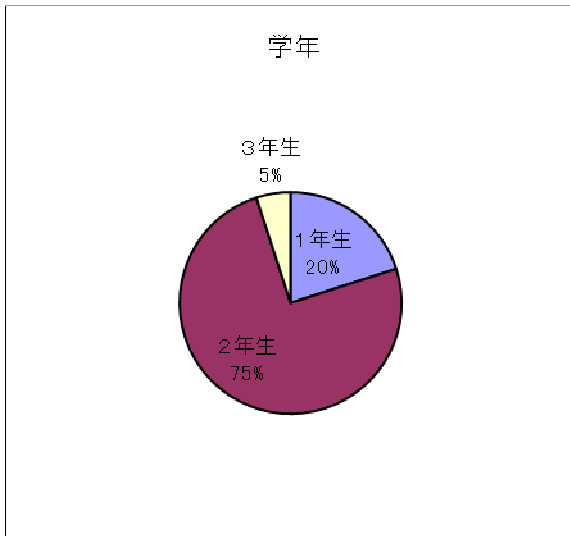


2. 2・3学期対象学生アンケート

☆アンケート結果（抜粋）

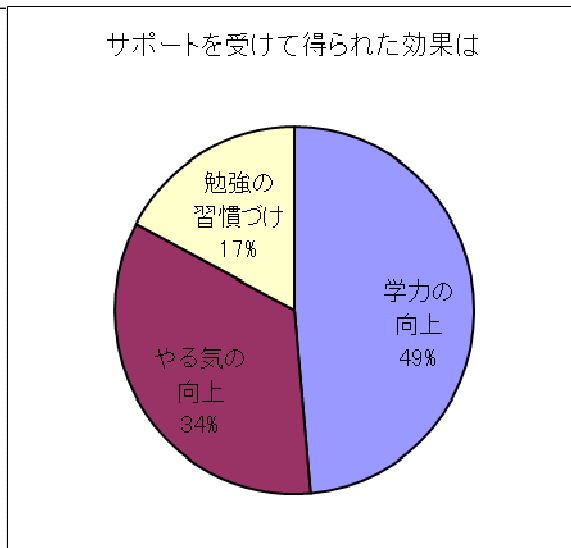
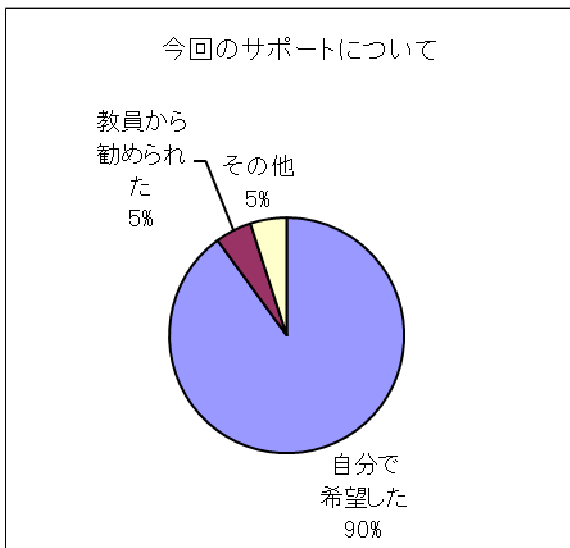
あなたの現在の学年は？

あなたの現在の所属は？



問1 今回のサポートについて

問4 学習サポートを受けてどのような効果が得られたと思いますか？(複数選択可)



問5 学習サポートを受けて役に立ちましたか？ 問9 サポートを受けてよかったと思いますか？

